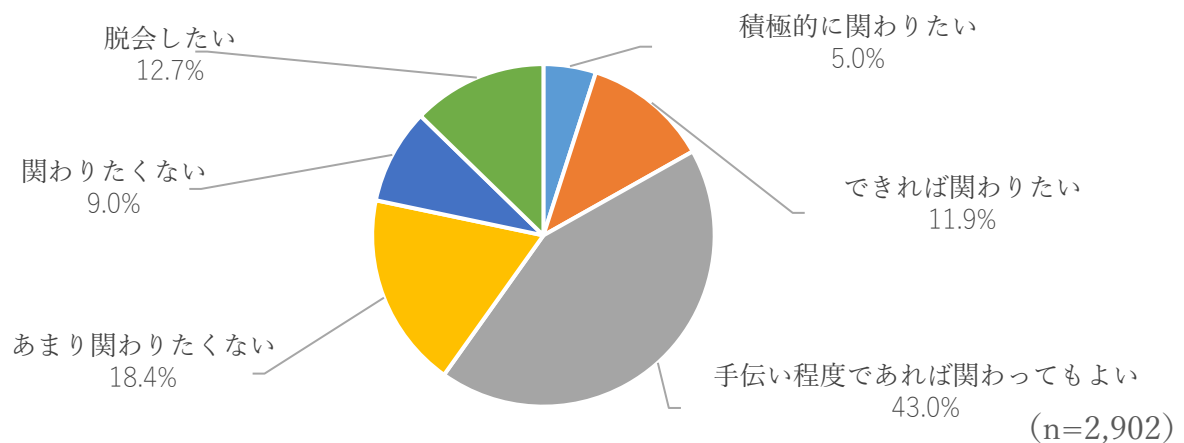


Q23.今後、町内会活動に関わっていきたいですか

「手伝い程度であれば関わってもよい」という回答が最も多く、1,248 件（43.0%）となっている。この数字に、「できれば関わりたい」の 345 件（11.9%）と「積極的に関わりたい」の 144 件（5.0%）を加えると、町内会活動に関わってもよいという回答は 1,737 件（59.9%）に達している。一方で「脱会したい」という回答が 369 件（12.7%）と 3 番目に多くっており、加入者の中にも「脱会したい」という希望を持つ人が一定数存在することがわかる。

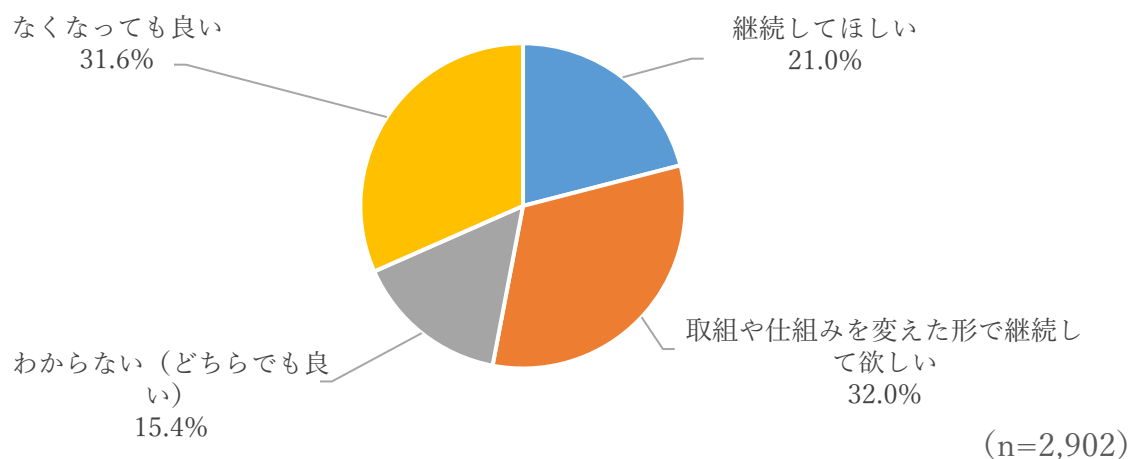
	回答数	割合
積極的に関わりたい	144	5.0%
できれば関わりたい	345	11.9%
手伝い程度であれば関わってもよい	1,248	43.0%
あまり関わりたくない	535	18.4%
関わりたくない	261	9.0%
脱会したい	369	12.7%
総計	2,902	100.0%



Q26.町内会の将来についてどう思いますか

「取組や仕組みを変えた形で継続して欲しい」が 929 件（32.0%）と最も多く、「継続してほしい」の 609 件（21.0%）と合わせると、1,538 件（53.0%）となり、全体の半数を超えている。一方で、「なくなっても良い」という回答も、917 件（31.6%）と 2 番目に多くなっている。

	回答数	割合
継続してほしい	609	21.0%
取組や仕組みを変えた形で継続して欲しい	929	32.0%
わからない（どちらでも良い）	447	15.4%
なくなっても良い	917	31.6%
合計	2,902	100.0%



Q21 の町内会に対する「満足度」と Q26 の「町内会の将来」の相関関係を見ると、「とても満足」や「やや満足」と回答したものの半数以上は、現在の町内会を「継続してほしい」と回答している。また、「とても満足」と回答したもののうち約 4 分の 1、「やや満足」、「普通」、「やや不満」と回答したもののうち、それぞれ約 3 分の 1 が「取組や仕組みを変えた形で継続して欲しい」と回答しており、満足度が高くても取組や仕組みを変えた方が良く考えている者が一定程度存在することがわかる。また「とても不満」という回答者の約 8 割が、町内会が「なくなっても良い」と回答している。

【「満足度」×「町内会の将来」】

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	とても不満	合計
継続してほしい	97	187	296	25	4	609
取組や仕組みを変えた形で継続して欲しい	47	131	526	175	50	929
わからない（どちらでも良い）	11	27	319	58	32	447
なくなっても良い	9	21	373	205	309	917
合計	164	366	1,514	463	395	2,902

IV まとめ

今回のアンケート結果では、今後の町内会活動で欠かせないものとしては、全ての世代で町内会の「デジタル化の推進」が最も多い回答となっており、町内会加入者の約半数、未加入者でも3割以上が回答している。若い世代はチャットやメール、SNS などデジタルによる情報取得に慣れていることもあり、回覧板による情報共有や会合などといった時間の共有を求められることを敬遠する傾向があることも要因の一つと考えられる。

一方で、町内会に希望することについては、懇親会・イベントなど活動の縮小の回答が多く、イベントを含め大きな負担を避ける傾向にあることも分かった。イベントの縮小や部会の整理など、町内会の負担を減らす取り組みを進める必要があり、併せてこれらの取組について、加入者だけでなく未加入者にも伝えていくことも必要である。新たな加入者を確保していくためにも、未加入世帯に対して町内会活用の状況や会費の使途などについて情報共有していくことも必要と考えられる。

回覧板については、回覧する役員だけではなく、回覧される会員側にとっても負担になっていることも分かった。電子回覧板の導入支援に併せて、市からの回覧文書の削減など町内会の負担軽減に向けた市としての取り組みを進めていく必要もある。

また、町内会加入者の約6割が町内会活動へ「関わりたい」と回答しており、町内会未加入者においても「地域での助け合いや繋がりづくり」について7割近くが「大切と思う」と回答している。地域に潜在的に存在する、こうした町内会活動や地域のつながりに対して肯定的な住民との関わりを創出し、負担感なく活動に参加してもらうことが出来れば、町内会活動を持続可能な状態に近づけることができると考えられる。